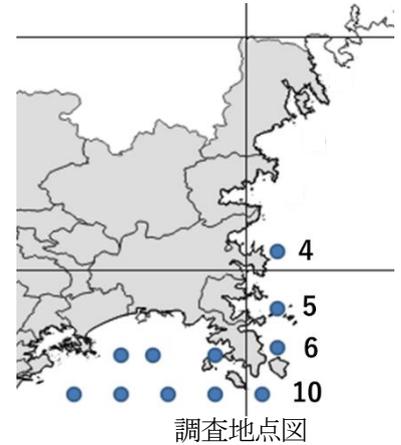


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.6)

令和7年2月19日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和7年2月17日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10) ※St. 4欠測
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で9.8~11.4℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は確認されませんでした。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* 及び *D. acuminata* は確認されませんでした。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				2月17日	-	2月17日	-	2月17日	-	2月17日	備考
4	欠測										
5	2月17日 11:27 42.6 m	13.0	10.4	0	-	0	-	0	-	0	
6	2月17日 10:53 66.8 m	18.0	9.8	0	-	0	-	0	-	0	
10	2月17日 10:10 67.4 m	17.0	11.4	0	-	0	-	0	-	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水